

活動報告

団体名	静岡県公立大学法人
活動名	災害 VC 運営支援活動プロジェクトの災害 VC 運営補助のための支援活動
活動期間	2018/09/02 ~ 2018/09/10
活動の成果	<p>災害ボランティア活動は、被災状況・規模や被災フェーズなどで活動内容が大きく異なる。今回、豪雨から 2 か月が経過し、JR 呉線が部分運行、豪雨被害が広範でボランティアが分散する中、全国から自分でも何か少しでも役に立ちたいというボランティアが毎日災害 VC に集まる。そしてその活動が支障なく進むように災害 VC を運営する呉市社協をはじめ様々な支援者がいる現場での貴重な体験となった。活動の軸に「被災者」を置き、ボランティアがスムーズに活動できるように後方で支援する社協職員や支援者の連携・協働の必要性に改めて気づかされた。</p> <p>まだ手付かずの家屋があり、もっと多くのボランティアが必要だ。呉災害 VC・サテライトではボランティア 10 人程度のグループで活動を行う。ただし、3 グループが活動した家屋は 1 日の作業で土砂を 1/3 も掻き出せなかった。ボランティア個々がやれることはほとんどないが、グループで、それも継続すれば被災者・被災地の大きな力になれる。最初はぎこちないが、活動終了後には和やかで一体感が生まれることはボランティア活動の一つの魅力であろう。その活動を支えている職員・支援者の方々の動きを知ることができたのは大きな成果であった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>今回の活動に参加できたのもこの共同募金助成のおかげであり、寄付者の方々には感謝いたします。</p> <p>特に、今回参加した大学生に限らず、学生にとって「時間確保」よりも「費用」がボランティア活動のネックとなってしまいます。災害時のボランティア活動への興味・関心は非常に高く、何か自分にもできることがあれば活動したいという気持ちはありますが、被災地までの交通費や宿泊費が大きな壁になっています。</p> <p>今回参加した学生 4 名も、ボラサポでの費用助成がなければとても行けなかったと言っています。被災地支援のニーズは時間軸に沿って変わっていきませんが、その時期ごとにボランティアに求められる支援・活動が必ずあります。費用負担の面や継続実施の面からもより使いやすく、より助成が受けられるよう、一層のご支援・ご寄付をお願いできればと思います。</p> <p>今回、呉市の災害 VC 活動に参加することができ、本当にありがとうございました。</p>

(活動のようす)

